

## 応援に関するガイドライン

主催者(朝日新聞社、日本高等学校野球連盟)は新型コロナウイルス感染対策として以下の通り「応援に関するガイドライン」を定める。

### 1. 学校関係者の入場

- (1) 学校関係者の入場に関しては(チアリーダー、応援リーダー、ブラスバンドを含む)、1、3塁アルプス席とする。  
入場にあたっては、大声を発する応援は行わず、拍手での応援を基本とする。球場内へメガホンの持ち込みは可能であるが、使用する際は叩くのみとする。太鼓の持ち込みは1個までとする。
- (2) 万が一、学校関係者が球場来場から14日以内に感染が判明した場合は、速やかに主催者に連絡をする。

### 2. ブラスバンド入場に関して

- (1) ブラスバンド入場が可能な人数は50名以内(楽器を使用し応援する生徒)とする。
- (2) 代表校はブラスバンドの入場を行う場合、あらかじめ主催者へ連絡し、代表校、主催者で情報共有する。試合当日は学校関係者同様、入場者の人数、氏名を把握し、感染者が発生した際に備える。
- (3) 対面を避け、横並びで演奏を行うよう、隣の演奏者と2席、前後の演奏者と1列空けて着席する。なお、主催者が座席にシールを貼るので、該当箇所に着席する。
- (4) 楽器の特性から特にフルート、ピッコロ、クラリネット、トロンボーンは他楽器の奏者との距離を十分に空けるよう留意する。
- (5) 結露は十分に注意して処理する。各自タオルを持参し、常にタオル専用袋を用意して厳重に管理する。処理する際は、楽器にタオルを近づけて行き、タオルを近づけ、周囲に飛沫が飛ぶことを防ぐ。
- (6) マウスピースのみを使用して音出しを行う際は、マウスピースの先端付近にタオルを近づけ、周囲に飛沫が飛ぶことを防ぐ。
- (7) 譜面、譜面台、打楽器のスティック等の道具は共有せず、個人管理とする。
- (8) 楽器を使用したアクションは行わず、常に座って正面を向いて演奏する。

## 1. スタンドへの持ち込みや配布物

応援にあたってのブラスバンド楽器などの物品、応援用具を持ち込み際のルールについては7頁の表を参照してください。持ち込めないものは球場規則に準じますが、危険なものや騒音を出すもの、観戦の妨げになるものは禁止です。応援は奇をてらう所作や派手なパフォーマンスにたよらず、澁漑とした応援を期待します。

- (1) ブラスバンドが使用する楽器の持ち込みは認めます。熱中症対策のため、数個程度のクーラーボックス(抱えられる程度の大きさ)の持ち込みも認めます。
- (2) 次のものは、持ち込みを禁止、または制約があります。
  - ① 鐘・笛、和太鼓(鼓・締太鼓)などブラスバンド以外の鳴り物は球場周辺への騒音防止や他の観戦者の安全確保のため禁止します。ただし、ブラスバンド用のドラム(太鼓)を応援団リーダーが使うことは問題ありません。メガホン(通称Vメガホン含む)は叩くのみとしてください。
  - ② アンプ・スピーカーなどの音響装置は球場周辺への騒音公害になりますので禁止です。また、危険防止やスムーズな応援団入れ替えのため演台・指揮台の設置も禁止しています。
  - ③ 紙テープ・紙吹雪・ゴム風船などはグラウンドやスタンドでゴミとなるので禁止します。
  - ④ 飾り物(大小を問わず)・着ぐるみ・置き物類・垂れ幕・ノボリ(桃太郎旗)などは観戦の妨げとなり、事故につながる危険性がありますので持ち込みを禁止します。
  - ⑤ 出場選手個人名や宣伝とみなされる企業名、贈り主名、商品名入りの用具などは商業活動とみなされ、学生野球憲章に抵触しますので禁止です。
  - ⑥ 地元での催し物・特産物などPRに関する物品で、しゃもじ・鳴子など地元名産品を応援に使用する場合は、事前に日本高野連に申告しご相談ください。使用を認める場合もあります。事前申告がない場合は、当日の持ち込みや使用はできません。
  - ⑦ チアリーダーのポンポンやサンバイザーなど光を反射してグラウンドでのプレーに支障をきたすおそれがある素材のものは使用できません。
  - ⑧ 応援パネルなど(人文字用)などは事前に日本高野連に申告し、ご相談ください。使用を認める場合もあります。事前申告がない場合は、当日の持ち込みや使用はできません。
  - ⑨ エアスティック・タオルなど光を反射しない素材であれば使用を認めます。タオルの大きさは一般的なスポーツタオルやマフラータオル程度とし、商業的な文言は避けてください。
  - ⑩ うちわ・メガホン・タオルなどの文言表示は「大会名・校名・校章・校歌・校訓及び校訓に準ずる文言」を原則とし、「必笑」などの造語を表示することはできません。うちわを持ち込む場合は大きさ、本数と図柄を事前に日本高野連に相談してください。

### 【応援での禁止行為】

- ・ 応援団員、チアリーダーほかブラスバンド前の広いスペースで応援、演舞すること
  - ・ チアリーダーが横列で踊ること
  - ・ 応援団員、応援生徒がバケツで水をかぶること
  - ・ 応援団員、応援生徒が上半身裸になること
  - ・ 座席、椅子に立っての応援やボード(ブラスバンド用)を掲出すること
  - ・ ウェーブ行為、タオル回しなど一般客へ応援を要請し煽ったり、煽情的な応援をすること
- (3) 応援団用に配布物がある場合  
 球場外周やスタンド内でのメガホンなど、応援グッズの配布と回収は事故・トラブルの元になりますので禁止します。地元を出発するとき、もしくは応援団バスの中で配布してください。関西在住のOB会や県人会も同様です。



- (4) 応援生徒の水分補給  
 応援生徒や野球部員のほか友情応援を含むプラスバンド、チアリーダーの水分補給には十分気をつけてください。試合途中で追加する場合は甲子園球場飲食・物販事務所(電話：0798-46-5047、ファクス：0798-47-6572)にご相談ください。ファクスによる事前予約が可能です。アルプス席まで届けてもらうことができます。申込書は代表校提出文書＝様式をまとめたクリアファイルに同封されています。
- (5) 応援用具の搬出入について  
 搬出入時に台車を使用することを認めます。ただし、球場の構造上動線に傾斜や段差がありますので事故防止のため、台車使用時は必ず2人(前後操作)で使用してください。
- (6) 横断幕  
 横断幕は、1.2m×16m以内(複数枚掲示する場合も合計16m以内を厳守)で、アルプススタンド最上段から掲示してください(38g、球場案内図参照)。指定場所以外での使用は一切禁止です。
- (7) 応援団旗または校旗の掲揚  
 応援団旗または校旗は1旗のみ、アルプス席最上段の指定された場所に掲揚してください。旗手には教職員と交代要員をつけ、状況に応じて旗手を交代するなどの措置をとってください。特に剣先がついている旗は危険ですので、周囲の人に十分注意してください。旗が大きく観戦の妨げになる場合や強風・雷など、主催者側で危険と判断した場合は掲揚を禁止することがあります。
- (8) 応援団が使用するボード(プラスバンド用)について  
 応援用ボードは最大で75cm×100cm程度に、また観戦の妨げにならないよう、掲げる時間は必要最小限にしてください。場所はスタンド下段のみです。中段・上段・階段での使用は禁止します。観客の安全には細心の注意を払い、係員から指示があった場合はすみやかに従ってください。
- (9) ハンドマイクの持ち込みと使用について  
 試合開始前と試合終了時に生徒や学校応援者に注意事項を伝達する場合に限り、ハンドマイクは2台まで使用を認めます。試合中の使用は禁止です。

## 2. 応援での注意やマナー

- (1) 基本的にアルプス席が学校の応援席  
 OB会や保護者会、地元の有志や関西在住の県人会、友情応援の学校などによる応援団も学校応援団と同様に、応援ルールの順守が求められます。一方、アルプス席では一般の方も観戦していますので、自校への応援や席の移動を無理強いするなど、トラブルのないようご注意ください。下段の広いスペースは緊急避難路です。立ち止まったり、ボードを掲げたり、荷物を置いたりしないでください。
- (2) 試合中のファウルボール  
 過去にプラスバンドの生徒にファウルボールが当たり大けがをする事故がありました。主催者は大会期間中防護ネットをアルプス席の内野席側に増設し事故防止に努めていますが、学校側でも警戒要員を配置するなど十分注意してください。スタンドで応援する野球部員はグラブを持参して、応援団責任者の指示に従い試合中の自校応援団の飛球事故防止に努めてください。特にプラスバンド生徒周辺は配慮してください。警戒要員は野球部員以外でもかまいません。

(3) マナーを守った節度ある応援

応援や演奏が開始できるのは「プレーボール」以降です。ただし、入場後の音出し(調整)は可とします。ブラスバンドの演奏や太鼓を使っての応援は攻撃時のみとします。応援や演奏の開始は各イニングの先頭打者がアナウンスされてからとし、3アウトになった時点で演奏や応援をやめてください。

①なお、イニング間は一切の応援をやめてください。守備中は演奏や太鼓を使っての応援はできません。座ったまま、拍手のみで応援してください。

試合が中断(球審の場内放送や選手のケガなど)した場合、演奏や応援は直ちに中止してください。

②5回終了時のグラウンド整備中は、演奏や応援を中止して水分補給や休息に充ててください。

③試合前のシートロック時やスタメンのアナウンス時には、太鼓の使用や声援を控えてください。拍手は可です。

(4) 応援リーダーなどの服装

部活動の応援にふさわしいものになるよう、ご協力ください。チアリーダーを含め、派手な祭り装束やハッピー姿で指揮・応援することはできません。応援リーダーは下段通路や中段通路で指揮してください。リーダーが動きながら応援をリードすることはできません。また、得点時などに野球部員や生徒が座席に立ったり、一カ所に集まって盛り上がる行為などは禁止します。

(5) ブラスバンド

①応援席のスペースは限られています。楽器収納ケースは、楽器搬送用バス(トラック)に残してください。また、応援者・野球部員などの荷物もできるだけバスに残してください。

②球場周辺での応援団ブラスバンドの練習や演奏行進は騒音防止のため厳禁です。

③大音量での演奏は球場周辺住民にとって騒音となることがあります。迷惑とならないよう、ご理解・協力願います。

④ブラスバンドの演奏は危険防止のため、必ず指定したブラスバンド席で行ってください。座席運用は応援団責任者会議で説明します。

(6) 一般観客席とのトラブル防止

①アルプス席券は一般の来場者にも発売しています。指定席ですので前の試合が終了しても、観客は入れ替わりません。学校応援団は一般の来場者との無用のトラブルは避けてください。

②盗撮や置き引き被害、無用のトラブルを防ぐため、チアリーダーの周囲には学校、応援団関係者が着席してください。もし、不審な人物を見かけたら、自分たちでは声をかけず係員・警備員に連絡してください。

③一般の観客とでトラブルになった場合は、応援団責任者もしくは学校関係者が当たってください。生徒が対応することにより、トラブルになるケースがあります。対応しかねる場合は大会本部、またはアルプス席の係員にご相談ください。

④下段通路および階段は、応援に使用するとともに一般の通路でもあります。特に下段通路は報道関係者もおおり大変混雑します。通行者の邪魔にならないように十分気をつけてください。下段通路でチアリーダーがダンス・演技をすることは禁止します。

(7) そのほか

タオルやメガホンを振り回しての応援は守備選手に緊張感、威圧感を与えることがあります。一般の観客が始めたとしても、同調しないで自粛してください。



### 3. 試合当日の応援の流れ

- (1) スタンドの入退場は大変混雑します。危険防止のためにも係員の指示を必ず守ってください。学校応援団の入場門は、1 塁側チームは1号門と24号門の間、3 塁側チームは14号門と15号門の間にある入場門(アルプスと外野の境界通路)となります。第1 試合の応援団は開門と同時に入場できますが、第2 試合以降については前の試合の7 回表を目安に係員の指示でプラスバンド、応援リーダー、チアリーダー、一般生徒の順に入場します。5 回裏終了を目安に入場門に集合し、入場券を1人1枚ずつ持って入場してください。前の試合の進行状況により、試合終了後に入場となる場合もあります。

※第1日の開会式は混雑が予想されるため、第1 試合については早めの入場をお願いすることがあります。

- (2) 試合開始前のグラウンドスケジュールは以下のとおりです。応援を始める際の参考にしてください。

前試合終了後 (分)	前試合の両校・アルプス席へあいさつ 自校選手入場(ウオーミングアップ)
5	後攻チーム・ノック(7分間)
12	先攻チーム・ノック(7分間) *この間に先発メンバー発表
19	グラウンド整備(散水含む) 選手がアルプス席へあいさつ
25～30	試合開始

※このスケジュールはあくまで目安です。前の試合が早く終わった場合や長引いた場合などは、この限りではありません。

- (3) 応援は入れ替えの完了まで開始しないでください。例えば、プラスバンドが先に配置についたからといって、楽曲の演奏を開始してはいけません。ただし、音出し(調整)は構いません。入れ替えの完了は、学校を窓口とした応援参加者および一般で来場される応援者が着席し、落ち着いた時点となります。完了の目安は応援者数にもよりますが、通常は両校ノック終了あたりになります(前試合終了後から約20分)。入れ替えは係員の指示に従いすみやかに行ってください。
- (4) 各校の初戦(第7日・第3 試合まで)では、2 回表裏の攻撃が始まる前にそれぞれの校歌が流れます。声を出しての斉唱を控えてください。プラスバンド演奏や太鼓を使用することはできません。手拍子は構いません。また、試合終了後に勝利校の校歌の斉唱と校旗の掲揚が行われます。その際、声を出しての斉唱を控えてください。プラスバンド演奏や太鼓の使用はできません。手拍子は構いません。メガホンを叩くことは控えてください。
- (5) 試合終了後は、入れ替えのため次試合の応援団にすみやかに席をお譲りください。勝利校の校歌斉唱後のエール交換は行わないでください。
- (6) 応援団責任者は応援用具・横断幕など責任をもって撤収し、また忘れ物がないよう複数の教職員の目で確認してください。メガホンやポンポンをはじめ、パネル・ボード、千羽鶴、楽器や校旗の収納ケース、楽譜スタンドなど忘れないように撤収してください。持ち主が不明な忘れ物は大会終了後に処分します。弁当箱やペットボトルなどのゴミは持ち帰り、場内や球場周辺では絶対に捨てないでください。
- (7) 学校側は出発から帰校まで応援団の行動に責任を持ち、トラブル、事故がないよう配慮してください。

#### 4. けが人・体調不良者が出た場合

- (1) スタンドでの応援中や入場前の待機中、応援団バス駐車場との往復途中に、けが人や熱中症などの体調不良者が出た場合、係員・警備員に一報し指示を受けてください。
- (2) 救急車を呼ぶ場合は大会本部より行います。自校で対応すると混乱し、救急車の到着や手当てが遅れるおそれがありますので、必ず係員・警備員に一報してください。
- (3) 救護室への搬送が必要な場合は、教職員か保護者が同行してください。
- (4) 搬送が難しいなど、症状によっては医師が出向きます。
- (5) 1塁側と3塁側のアルプススタンド近くの2階通路に長いすなどを備えた応援団用の休憩所を設けます。気分が悪くなった人など、一時的に休んでもらう場所ですが、医療対応はできません。スタンドに戻れないような症状の人は救護室で医師の処置を受けてください。

#### 5. 写真・動画撮影について

- (1) 甲子園球場での選手権大会を観戦、応援する一般客や学校関係者(教職員・生徒・保護者・OBほか)などすべての観客は、個人で楽しむ目的に限り写真や動画の撮影をすることができます。写真や動画データは第三者に譲渡できません。
- (2) 上記1のすべての観客はグラウンド上のプレーや選手、応援団風景などを撮影した写真や動画をYou Tubeなどのウェブサイトやフェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINEなどのSNSに掲示、投稿することはできません。これは選手や学校応援団を含む観客らの肖像権をめぐる無用のトラブルを防ぐためです。もちろん出版物掲載(無代か有代か問わず)や写真、動画販売などの営業を目的とした撮影は禁止です。
- (3) 学校関係者が応援団風景などの写真を撮影し、自校ホームページのみに掲載することは認めます。動画撮影はできません。グラウンド上は個人が特定されず、プレーしていない場面の凶柄の掲載を認めます。応援団風景、グラウンドそれぞれ掲載枚数は2～3枚程度とします。詳細は8月3日の応援団責任者会議、責任教師会議で説明します。写真や画像データの第三者への譲渡はできません。トラブルが起きた場合は学校の責任で対応してください。
- (4) 卒業アルバムや記念誌、会報(生徒会・OB会・PTAなど)、学校の資料保存用として、写真や動画の撮影を撮影業者が行う場合は認めます。責任教師にお渡しする「写真・動画撮影等の許可申請」(様式13)に記入の上、高野連事務局に申請してください。
- (5) 写真や動画を撮影される際は、スタンドでのグラウンドに向けてフラッシュを使用した撮影や三脚の使用はできません。また、撮影のためにみだりに座席を移動し、通路、危険な場所、グラウンド内で撮影するのは禁止です。
- (6) 新聞・雑誌、テレビなどの報道カメラマンは取材協定に則って取材、撮影しています。取材や撮影に影響しないよう、係員の指示に従ってください。

□提出…写真・動画撮影等の許可申請 様式13 必要時



▷ 応援する際の持ち込み物品や用具規制 ◁

分類	使用品・アイテム	可否	備 考
鳴 り 物	ブラスバンド楽器	○	演奏用のタンバリン・鈴・ティンパレスは○ スチールパン・カウベル・コンガ・ボンゴ・マラカス・クラベス・ギロ等  指笛は○、但し人数や鳴らす回数など程度による  大きさ・本数・図柄は日本高野連へ要相談 大きさ・本数・図柄は日本高野連へ要相談  長さ60cm以上×、カラーコーン(パイロン)の転用× 光を反射する素材は× 個人・企業・商品名入り× 試合開始前・終了時の伝達に限定
	ブラスバンド打楽器＝ドラム・シンバル・木琴・鉄琴	○	
	ブラスバンド打楽器＝ラテン系打楽器等	○	
	音響装置＝マイク・アンプ・スピーカー等	×	
	鐘、鉦、銅鑼、鈴など鳴り物の仏具、ハンドベル等	×	
	鈴＝演奏以外の舞踊もの	×	
	笛＝ホイッスル、法螺貝	×	
	拍子木、カスタネット、仏具の木魚(木柁)、算盤、竹ばち、ハンドクラッカー、ハリセン	×	
	和太鼓＝鼓・締太鼓・団扇太鼓	×	
	爆竹・クラッカー・花火等火薬類	×	
	しゃもじ(大きさ不問)	△	
	鳴子・筑子(こきりこ)	△	
	ブブゼラ(ブブセラ)	×	
メガホン・Vメガホン	○		
エアスティック	○		
ハンドマイク(2台まで)	○		
グ ッ ズ	帽子・サンバイザー	○	光を反射する素材でプレーに支障をきたすものは× 光を反射する素材でプレーに支障をきたすものは× 個人・企業・商品名入り× 個人・企業・商品名入り×  大きさはスポーツタオル、マフラータオル程度  大きさ・本数・図柄は日本高野連へ要相談 地元自治体名入りは日本高野連へ要相談  光・光線を発し、反射する道具は×
	応援用ポンポン・シャンシャン(鈴なし)	○	
	Tシャツ・ポロシャツ・学生服(学ラン)・ユニホーム等	○	
	鉢巻き	○	
	法被・祭り装束	×	
	タオル・手拭い＝学校名入り	○	
	タオル・手拭い＝個人・企業・商品名入り	×	
	うちわ・扇子＝学校名入り	○	
	うちわ・扇子＝個人・企業・商品名入り	×	
	紙テープ・紙吹雪	×	
紙風船・ゴム風船・ジェット風船	×		
ろうそく・ペンライト・レーザー発射器具・鏡等	×		
雑 貨	クーラーボックス(氷・飲料入り)	○	熱中症防止用で数個程度、アイスピック× 中味が飲料以外は× 例) 砂、ビーズ、金属玉、劇物 携帯用の霧吹き機、保冷剤は○ 熱中症防止用で数個程度、叩いての音出し× 鳴り物に転用される雑貨、雑品は×  OB分・友情応援学校分も×  前後2人で操作すること
	飲料＝ペットボトル(ダンボール箱入り)	○	
	製水機・ウォーターサーバー・浄水器等	×	
	ポリバケツ	○	
	金属製バケツ、鍋、フライパン、盥(たらい)、洗面器等	×	
	多用途ポリ容器(50ℓ以上)	×	
	ブラスバンド楽器ケース	×	
ブラスバンド用楽譜スタンド	○		
飲料等運搬用台車	○		
飾 り 物	ぬいぐるみ(等身大以上)	×	観戦の妨げになるものは等身大以下でも×  置物類× 大きさにもよる。横断幕の場所に掲げること
	着ぐるみ・郷土民俗変装等	×	
	木像・塑造像・ダルマ・マネキン人形に類するもの	×	
	千羽鶴	○	
	装飾用造花・生け花・飾り花・花輪等	×	
顔や身体の一部へのシール、ペイント、マスク等の被り物	×		
小 道 具	演台、指揮台、踏み台、脚立、立て看板	×	大きさ＝最大75cm×100cm 個人名×、最大30cm×42.5cm、日本高野連へ要相談
	応援団ボード(ブラスバンド用)	○	
	人文字用パネルなど	△	
旗 類	垂れ幕・幟(桃太郎旗等)・寄せ書き	×	指定場所以外×、1.2m×16m以内 アルプス席最上段で1旗のみ、教職員・交代要員を配置
	応援小旗(布・不織布・ビニール・その他素材)、はたき	×	
	横断幕	○	
	応援団旗または校旗	○	
大漁旗・万国旗・キャラクター旗類	×		

- 〔注意事項〕
1. 出場選手個人名や宣伝とみなされる企業名、贈り主名、商品名入りの用具は球場への持ち込みはできません。
  2. 応援に関係のない物品等の持ち込みはできない場合があります。主催者、球場係員の指示に従ってください。
  3. 上記にない応援時に使用する物品や用具の持ち込みは日本高野連にご相談ください。
  4. 千羽鶴は、自校のもの1つに限ります。特に折り鶴で文字や絵を表現した物、のれん状にした物、額等枠に入っている物は、持ち込みできません。